

【生徒授業】学校評価アンケート結果

《国語》

調布市立第八中学校

1 そう思う

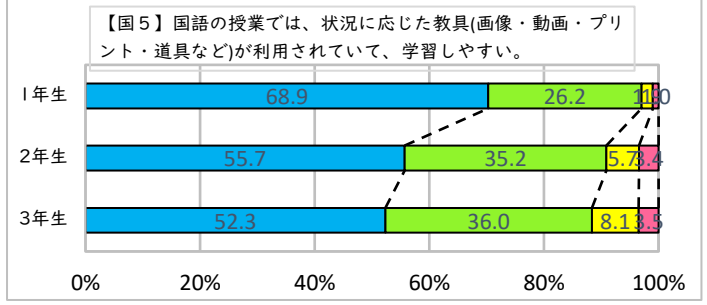
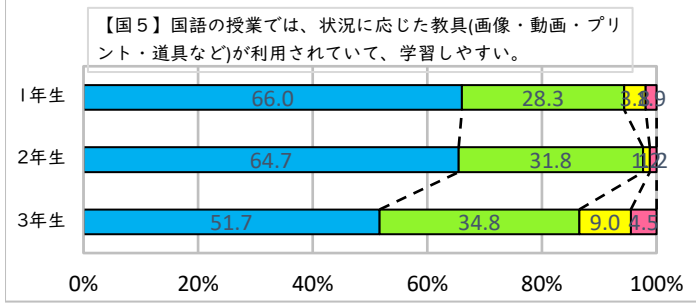
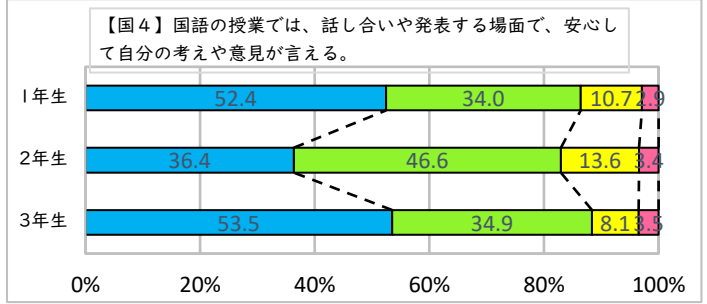
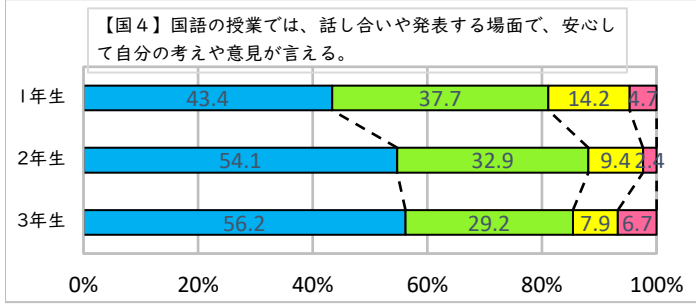
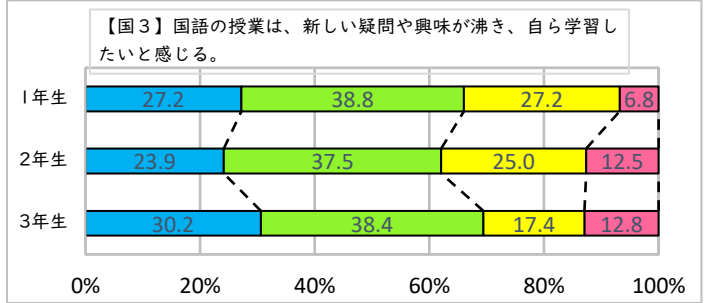
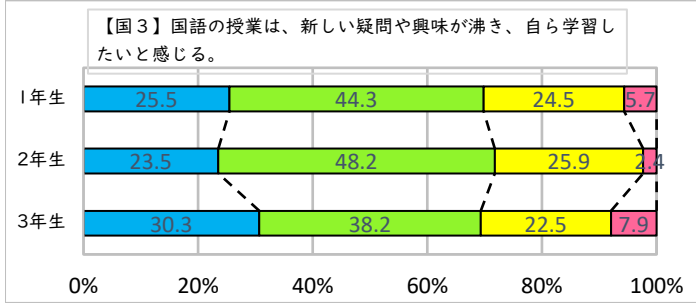
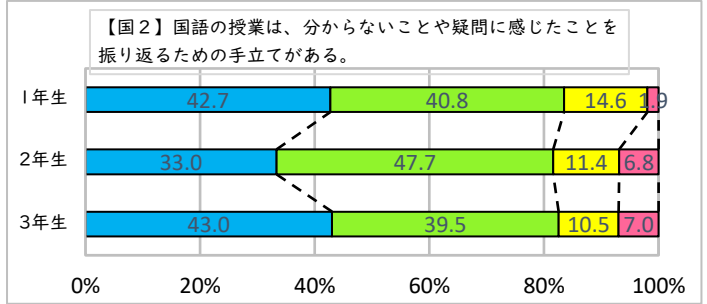
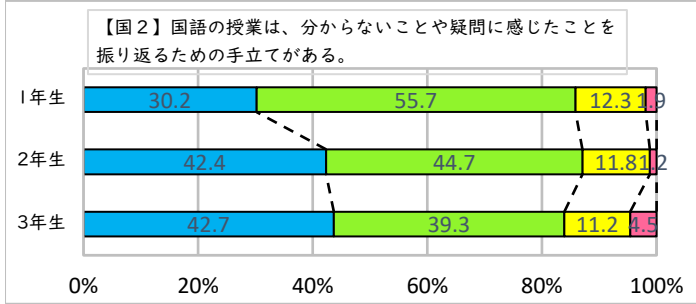
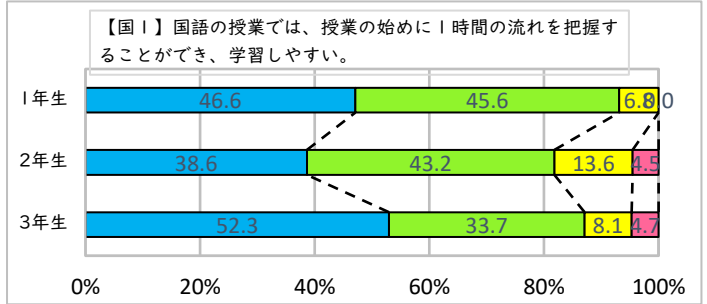
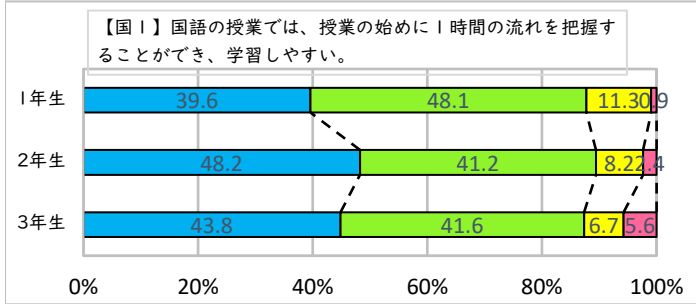
2 ややそう思う

3 あまりそう思わない

4 そう思わない

【7月結果】

【12月結果】



《成果》

ほとんどの項目において「そう思う」「ややそう思う」が80%を超えている。毎時における目標の掲示や話し合い活動などの効果である。

《課題》

【国3】の数値が他と比べて低い。教科の特性として、「新しい疑問」が湧きにくい、興味をもてるような課題を設け主体的な授業展開の工夫を行う。  
【国4】が、2年生は1学期に比べ「そう思う」よりも「ややそう思う」が増えている。話し合いやすい雰囲気作りが課題である。

《今後の取組》ICTの効果的な利用も継続していく。一方「書くこと」「話すこと」といった従来の基本的な学習もおろそかにせず、様々な学習の礎となる言語学習の構築を図る。話し合いがしやすい人間関係にも気を配っていく。

【生徒授業】学校評価アンケート結果

《社会》

調布市立第八中学校

1 そう思う

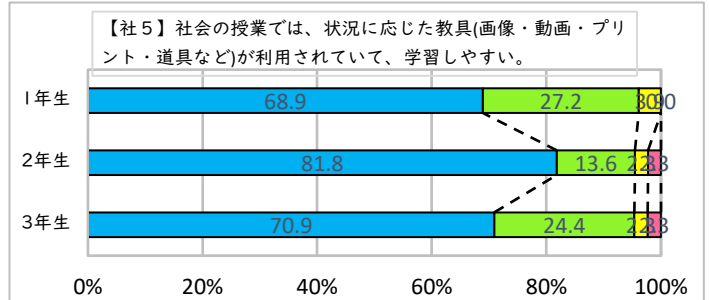
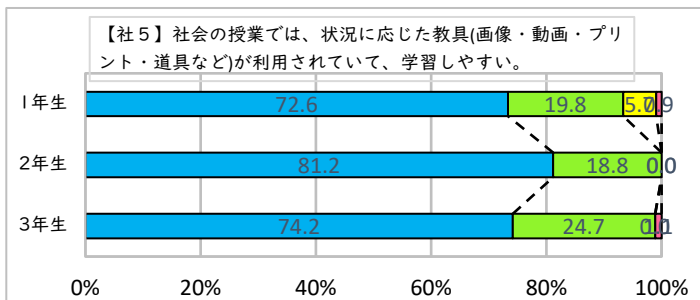
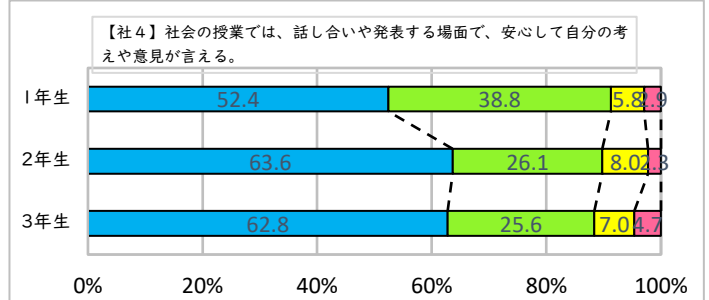
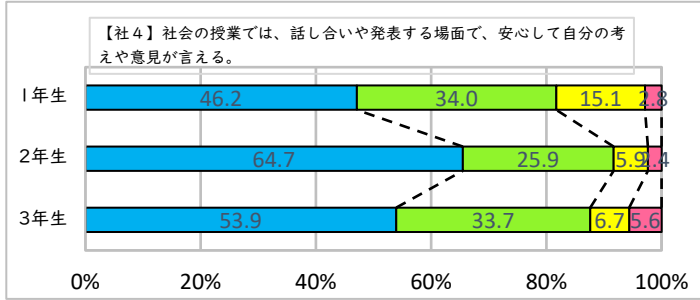
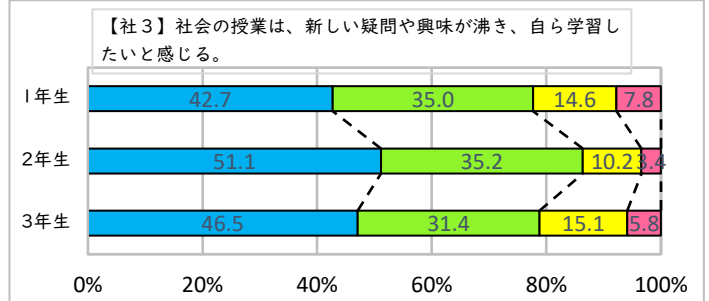
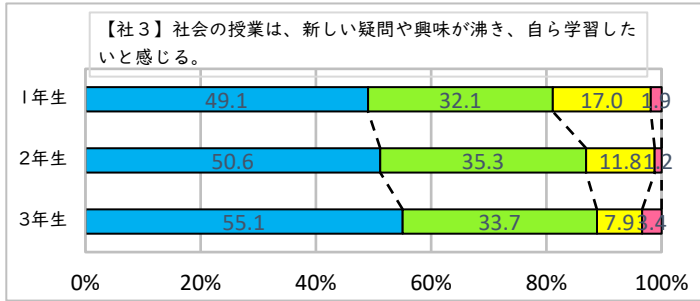
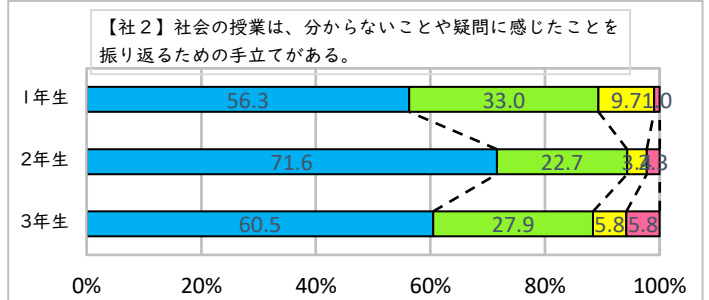
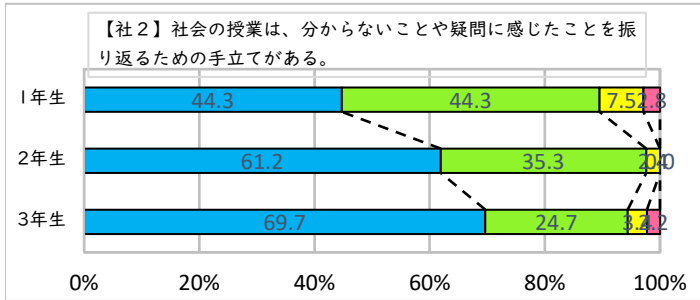
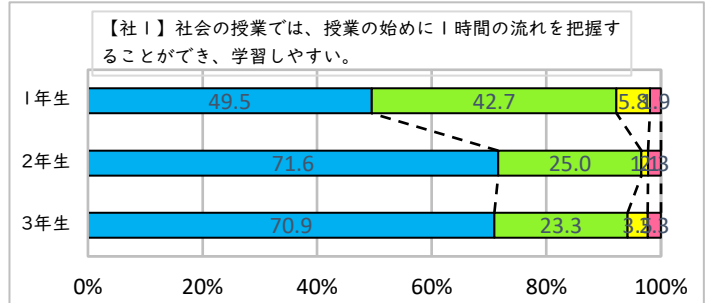
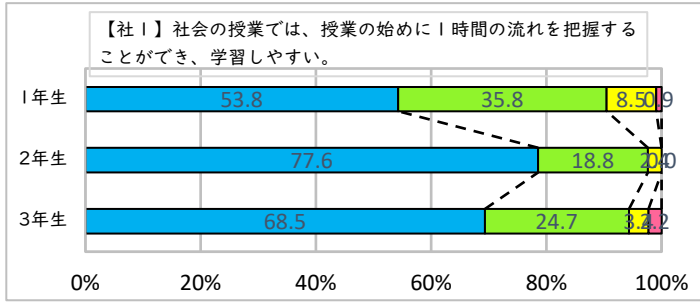
2 ややそう思う

3 あまりそう思わない

4 そう思わない

【7月結果】

【12月結果】



《成果》

全体的に肯定的な回答が多い。【社4】については7月と12月と比較すると、肯定回答の増加傾向がみられた。一人一台端末を用いた話し合い活動を充実させた成果が表れたと考える。また、【社5】については、ICT機器やデジタル教科書等を積極的に活用した成果が表れていると考える。

《課題》

【社3】については、7月と12月を比較しても、否定的な意見が他の質問項目に比べて多い傾向に変化はなかった。学習内容が難解になる時期であるが、社会的事象に対して興味・関心や、主体的に追及する姿勢を育むための授業改善が必要である。

《今後の取組》

様々な教具や、内容に応じて適切な活動形態を柔軟に取り入れていくことで、学びやすい学習環境を整えていく。また、今後もICT機器や一人一台端末の活用機会を増やす取り組みをしていく。一方、興味・関心をもたせるために、授業の導入や単元を見通した学習課題の設定方法を見直していく。

【生徒授業】学校評価アンケート結果

《数学》

調布市立第八中学校

1 そう思う

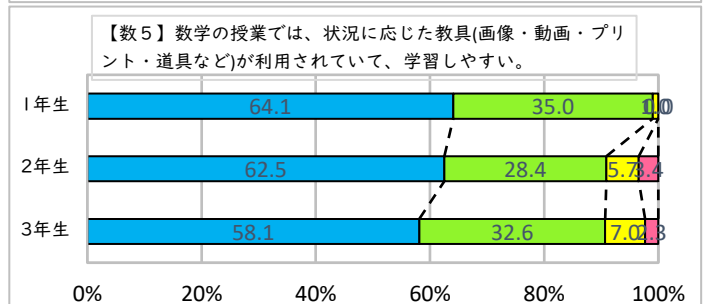
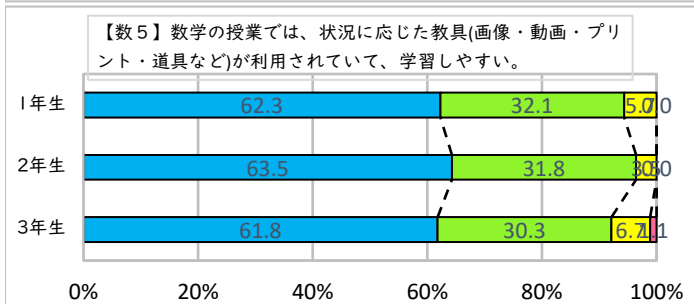
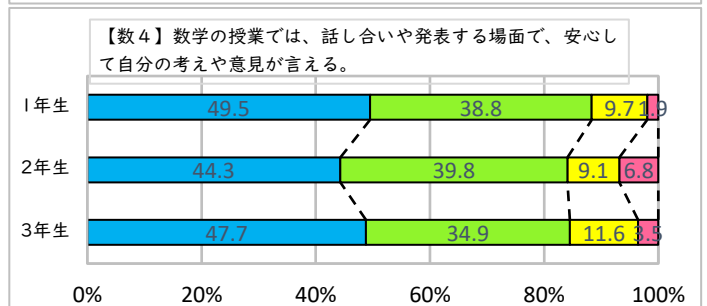
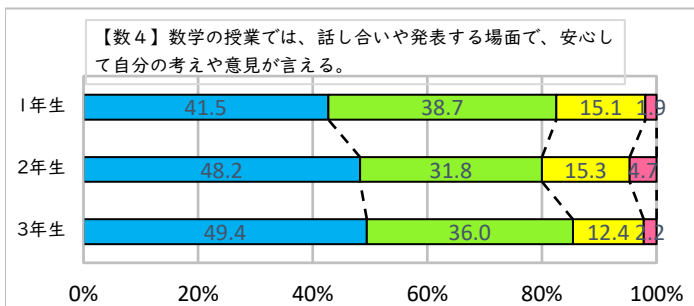
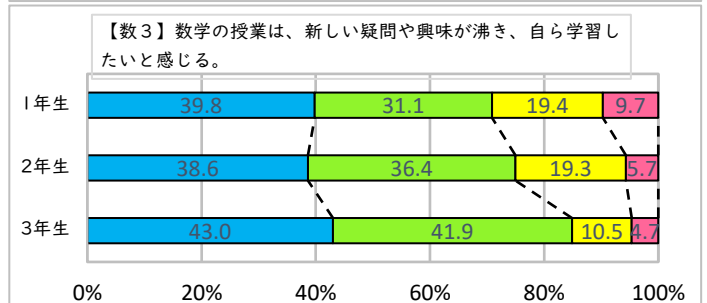
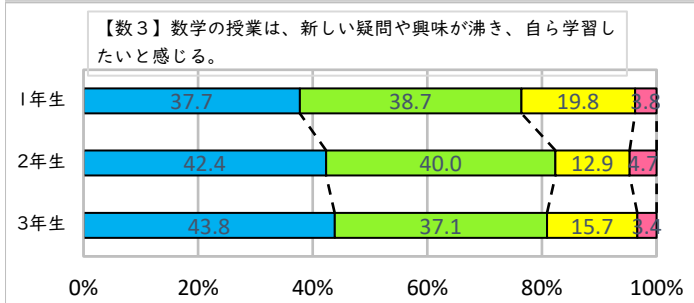
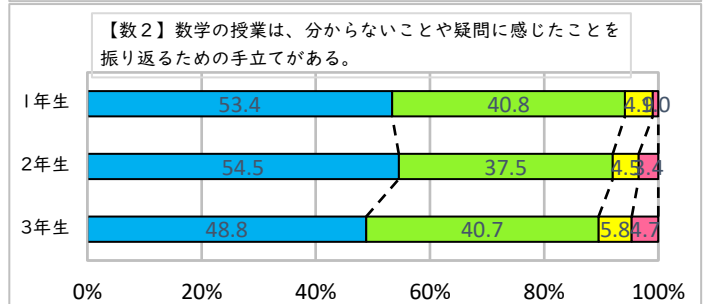
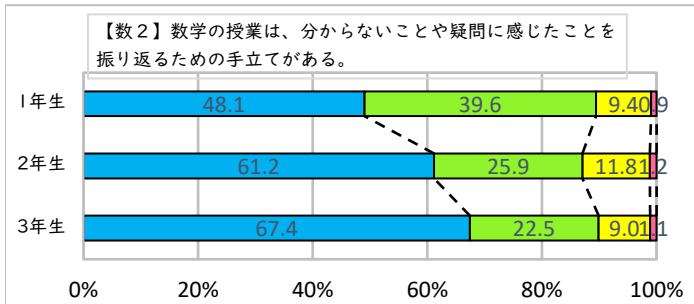
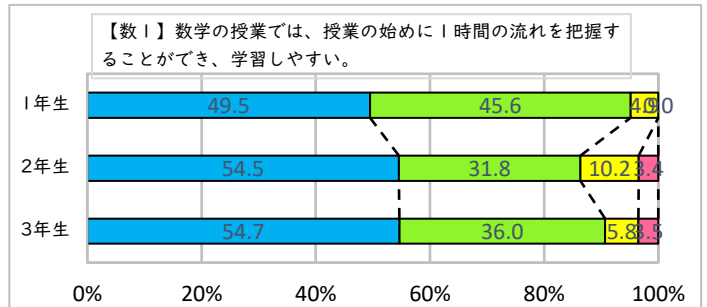
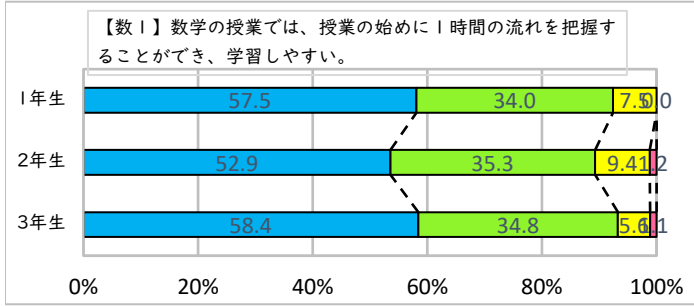
2 ややそう思う

3 あまりそう思わない

4 そう思わない

【7月結果】

【12月結果】



<p>《成果》</p> <p>【数2】の項目について、授業ごとや単元ごとに振り返りをする時間を増やした。生徒の振り返りを把握することで、個別の理解を把握することができ、授業改善につながった。また、生徒は振り返りをする中で、より深く新しい疑問や興味をもつことができるようになった。</p>	<p>《課題》</p> <p>【数3】の質問のように、新しい疑問や興味を生徒にもたせるためには授業準備と発問が大切である。授業で扱う教材や生徒の思考を刺激する発問の工夫を行う。</p>	<p>《今後の取組》</p> <p>話し合い活動等が活発になり、生徒たちも授業をアクティブに行えるようになってきている。数学に対する苦手意識をなくし、新しい考え方や見方ができる授業を今後も作っていくことが大切である。そのために、個別の理解状況の把握と、個に応じた指導に努めていく。</p>
---	--	--

《生徒授業》学校評価アンケート結果

《理科》

調布市立第八中学校

1 そう思う

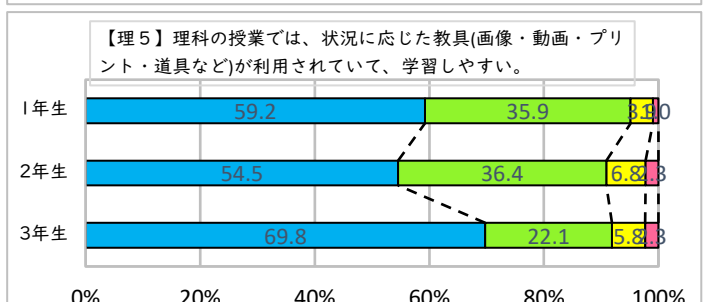
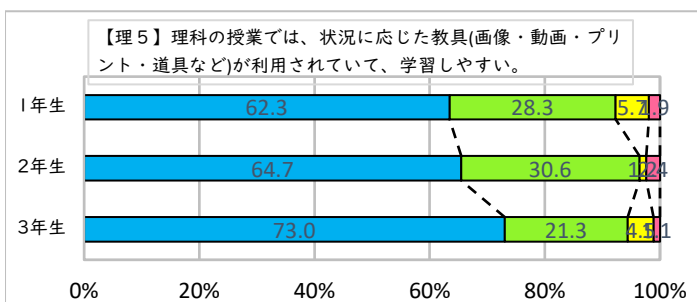
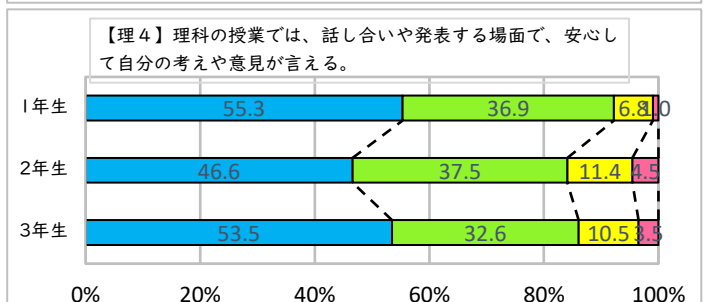
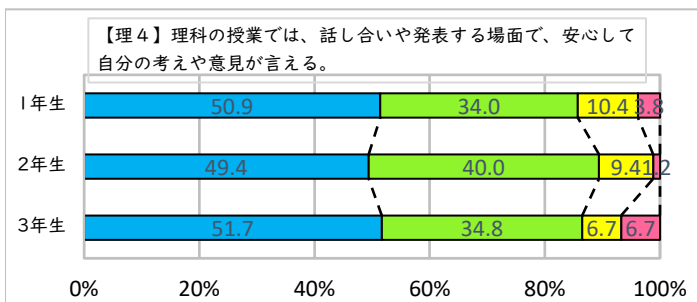
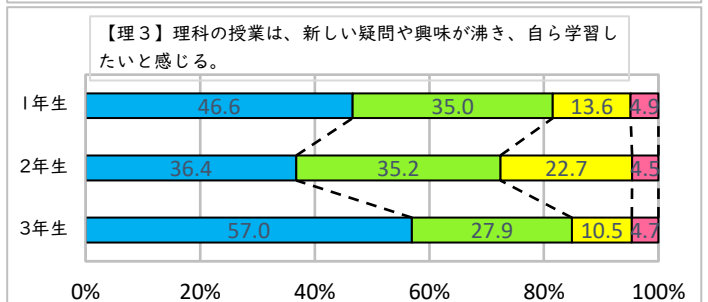
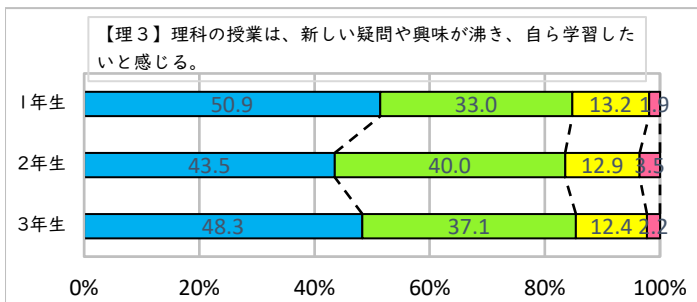
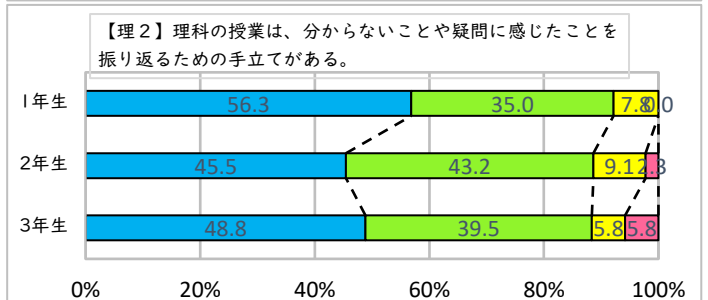
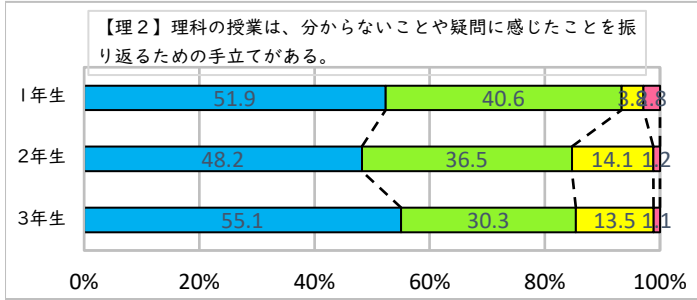
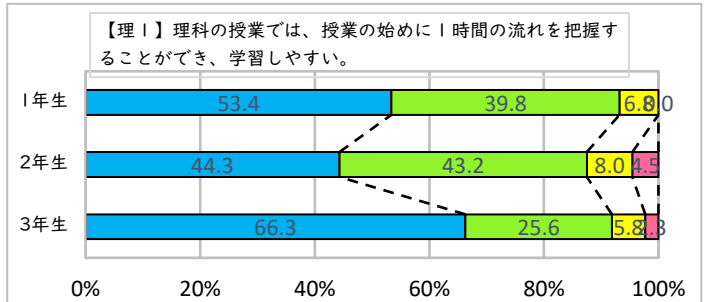
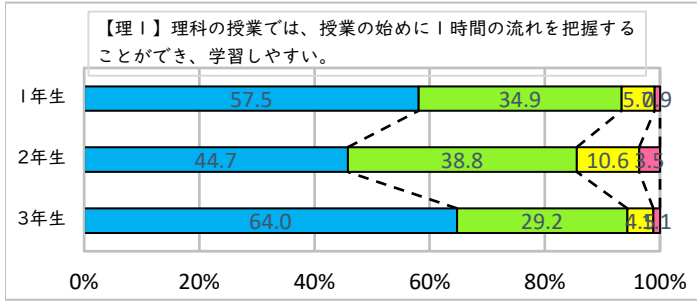
2 ややそう思う

3 あまりそう思わない

4 そう思わない

【7月結果】

【12月結果】



《成果》

全体的に肯定的な回答が多かった。その中でも【理4】が7月から12月にかけて、よい数値となった。授業内で、ICT機器を用いて意見共有がしやすくなったからだと考える。また、実験計画を行うことにより、既習内容を活用するため、安心して意見を出し合えるようになったからと考える。

《課題》

【理3】より理科を通して、新しい疑問や興味を生徒に抱かせることに課題があると感じる。教科書・ワークの内容だけでなく、日常生活との繋がりを意識させる導入や授業内容にしていく必要がある。

《今後の取組》

日常生活との繋がりを意識させるために、学習内容が日常生活ではどのように活用されているのが理解できる授業を展開していく。また、理科に対して興味・関心をより高めるために、NHK for schoolやYoutubeなどの動画を活用していく。

《生徒授業》学校評価アンケート結果

《英語》

調布市立第八中学校

1 そう思う

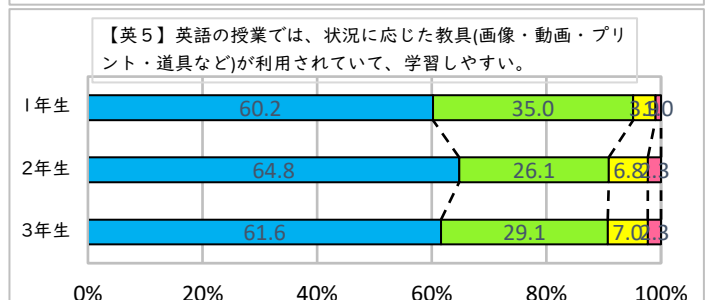
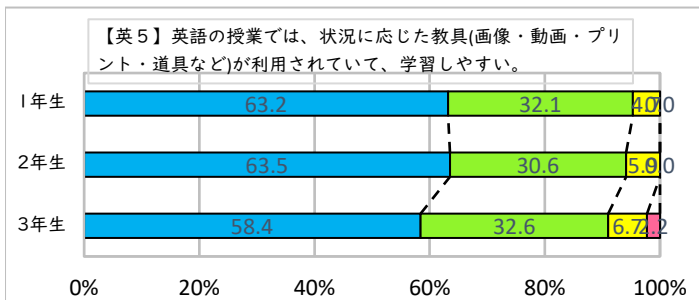
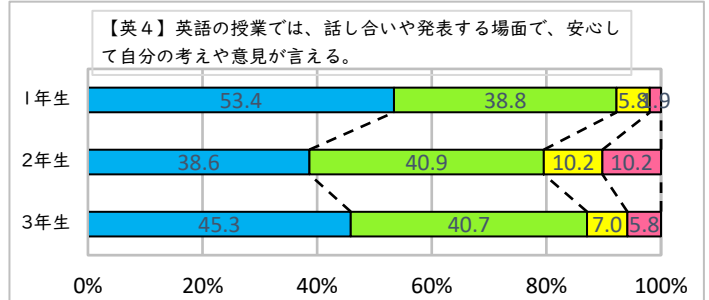
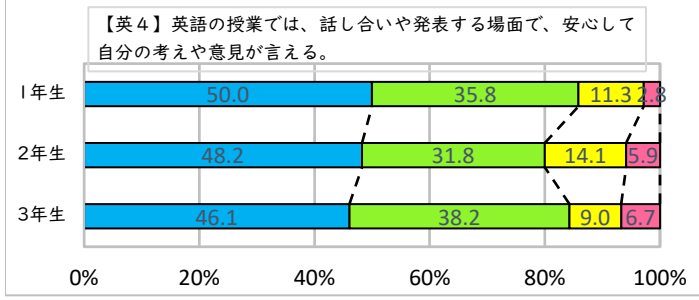
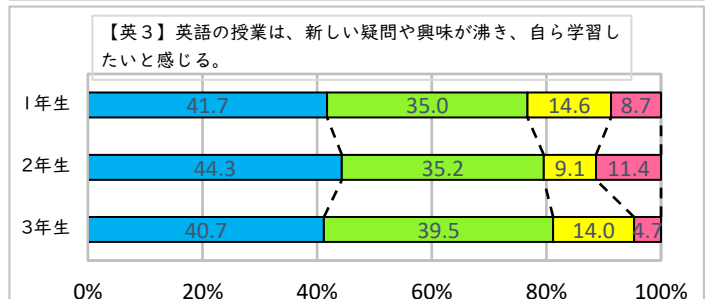
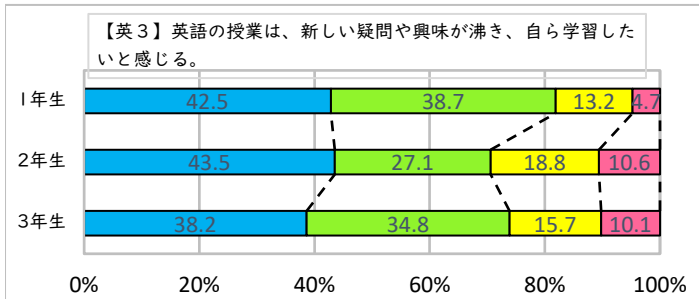
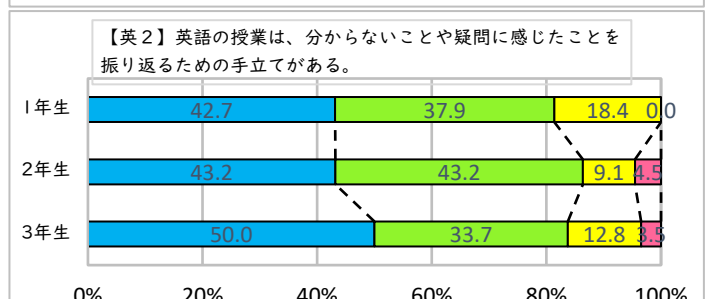
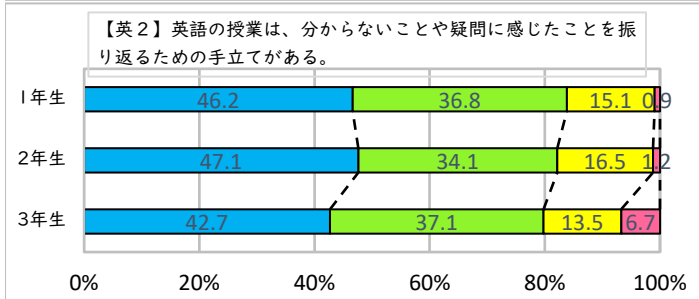
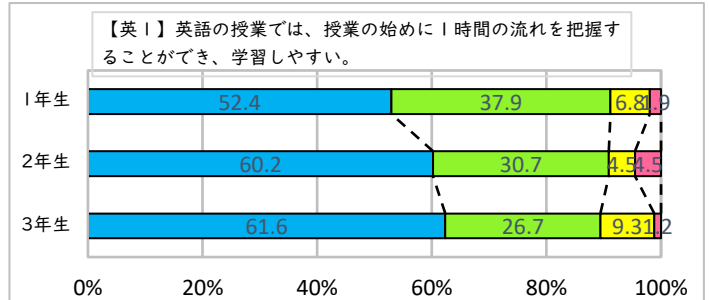
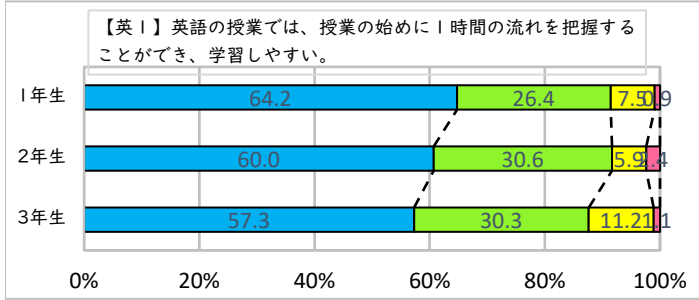
2 ややそう思う

3 あまりそう思わない

4 そう思わない

【7月結果】

【12月結果】



《成果》

全体的に肯定的な回答が多い。【英3】【英5】については6月と12月を比較すると、肯定回答の増加傾向が見られた。【英3】では、生徒にとって身近な話題や場面における状況設定を行い取り組むことで、生徒の興味関心を引き出す工夫を行った。【英5】についてはデジタル教科書や動画教材など様々なICT資料を用いた授業の成果であると考えている。

《課題》

【英1】については1年の肯定回答の内容に減少傾向が見られた。授業の始めに見通しがもてる工夫をすべての授業で実践していく。【英4】については肯定回答の全体数値には大きな変化がないものの、2年の「とてもそう思う」の回答が大幅に減少した。学習内容が難解になる時期ではあるが、生徒が自信をもって取り組めるような、わかりやすい授業展開の工夫を目指す。

《今後の取組》

様々な教具をより効果的に用いて、ペアやグループなど様々な活動形態を多く取り入れていく。それを通して、多くの人の意見に触れ、認め合いながら、英語で表現する機会を増やしていく。

《生徒授業》学校評価アンケート結果

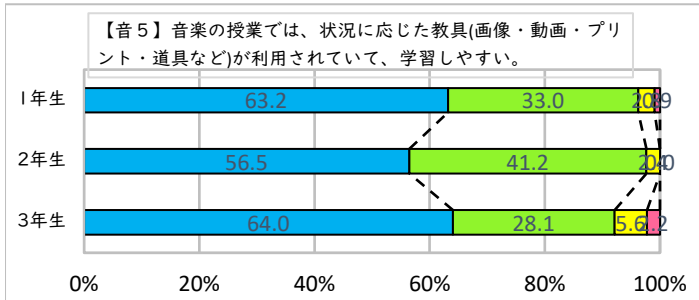
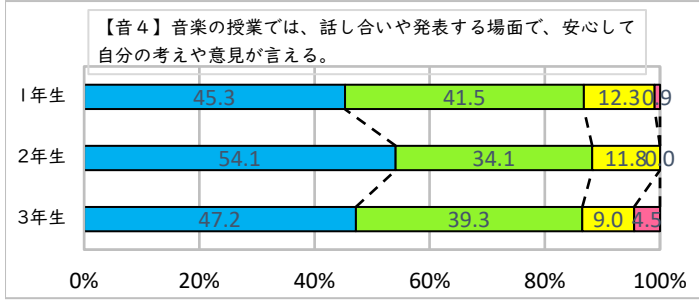
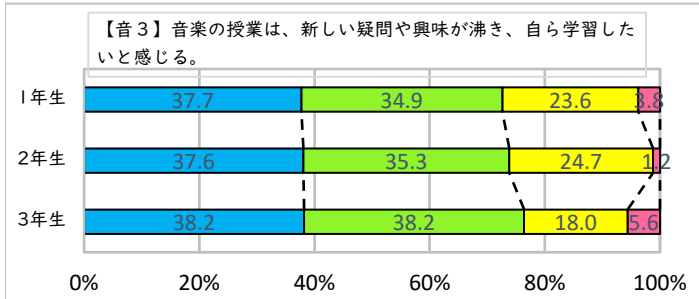
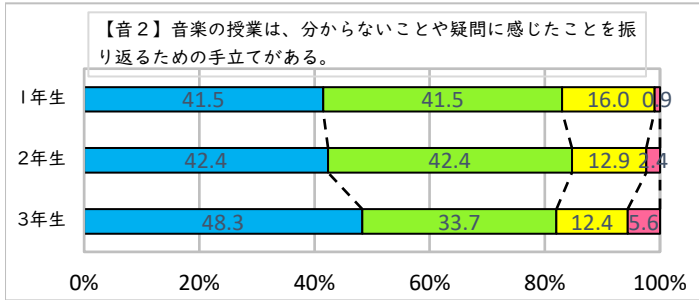
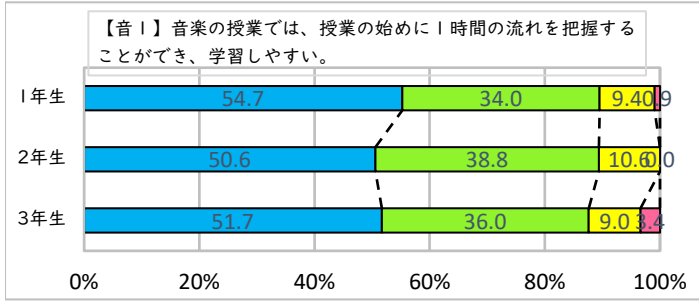
1 そう思う

2 ややそう思う

3 どちらでもない

4 そう思わない

【7月結果】

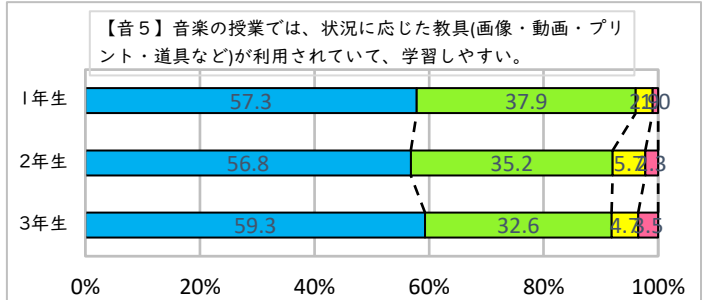
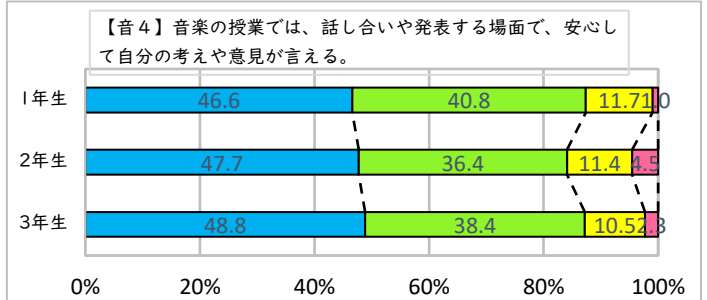
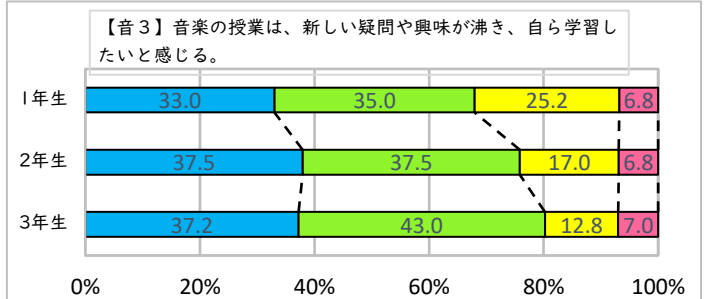
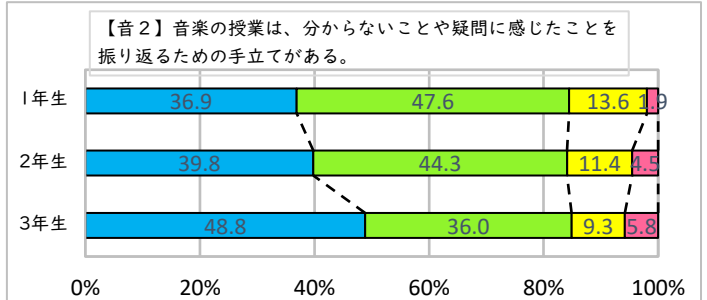
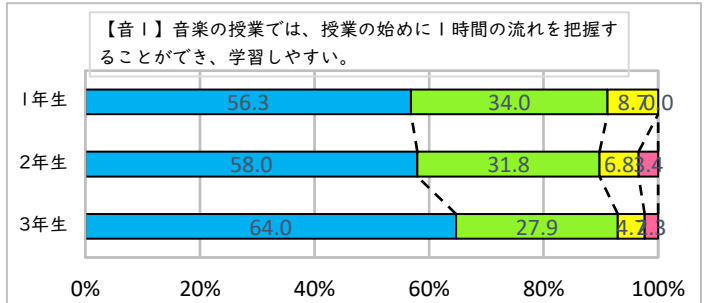


《音楽》

調布市立第八中学校

4 そう思わない

【12月結果】



《成果》

全体的に肯定的な意見が8割を超えており、特に【音1】では全学年で「そう思う」「ややそう思う」の数値が増えた。これは授業の始めに授業の流れを板書し、確認していることで学習しやすい環境がつけられていることが表れている。

《課題》

他の質問と比べ、【音3】では「そう思う」の数値が全学年低くなっている。2・3年生は肯定的な意見が増えているが、1年生は肯定的な意見が低くなっている。新しい疑問や興味が湧くような発問等を取り入れていく。

《今後の取組》

新しい疑問や興味が湧くよう、授業内容と自らの音楽体験を結びつけるような授業研究を行う。また、知識としてだけでなく、体感すること・体験すること等を通してより興味のもてる授業になるよう授業改善に努める。

《生徒授業》学校評価アンケート結果

《技術》

調布市立第八中学校

1 そう思う

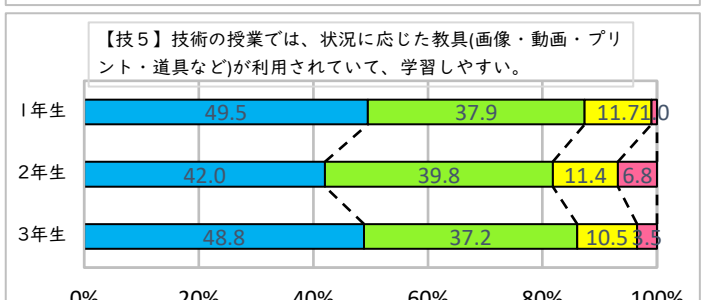
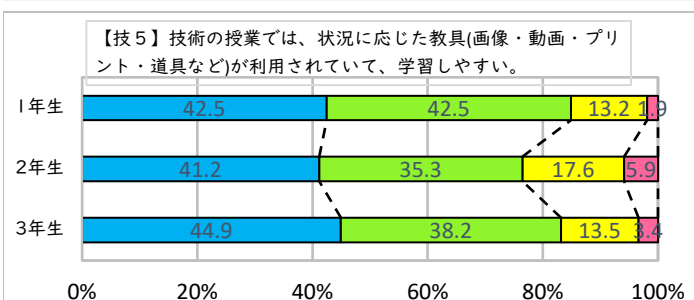
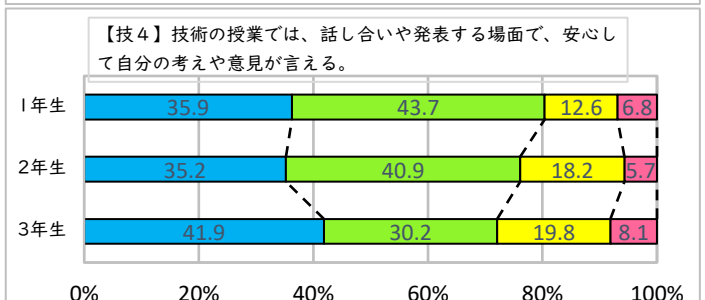
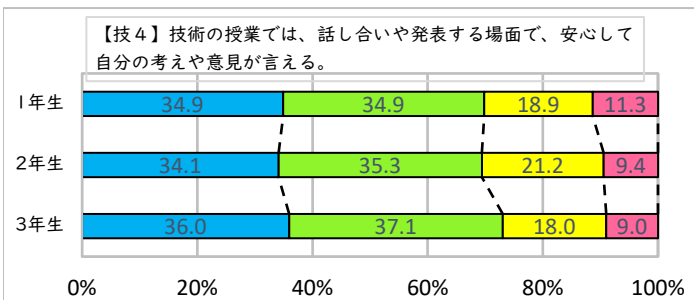
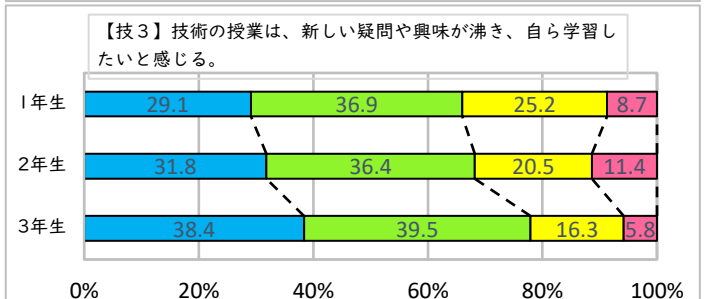
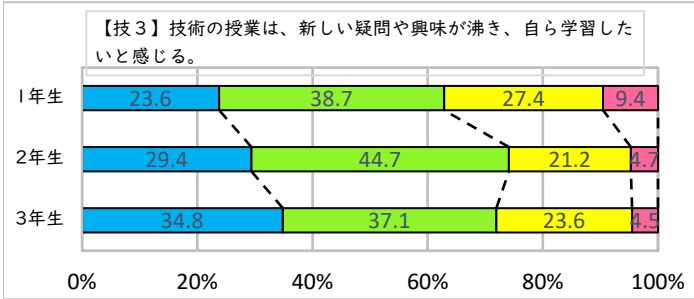
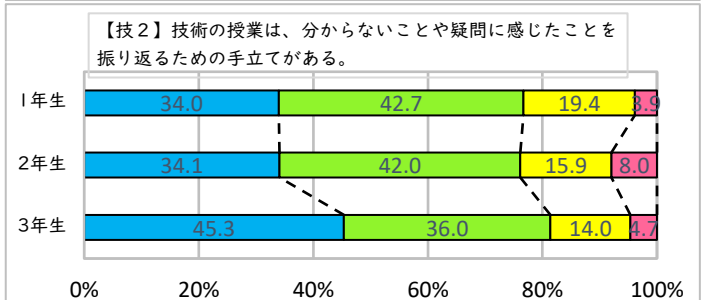
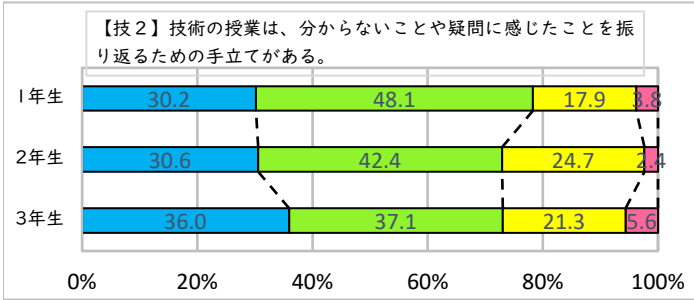
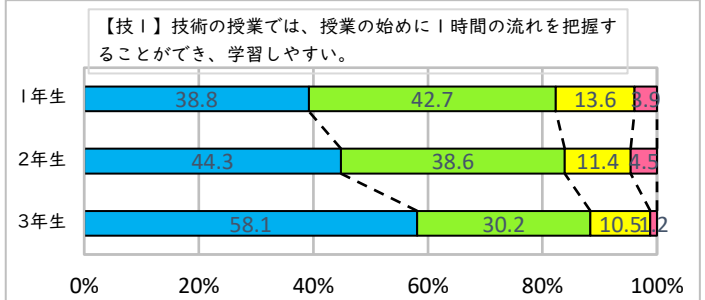
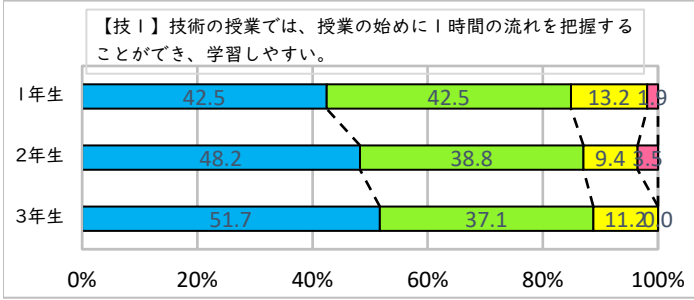
2 ややそう思う

3 あまりそう思わない

4 そう思わない

【7月結果】

【12月結果】



《成果》

生徒の授業に取り組む姿勢を見ても、【技1】【技2】の結果を見てもしっかりと取り組みが引き続きできていると考えられる。  
教科の特質から【技4】が低い傾向がみられるが、短時間の話し合いの時間を継続させていく。

《課題》

【技3】の自ら学びたいと思う生徒が少ないのが課題で、生徒の意欲を喚起する課題の設定など工夫する必要がある。

《今後の取組》

生徒の意欲を喚起するため、さらにICT機器を使用するなどして、少ない時間数の中でも効率的につまずきを発見したり、応用課題に挑戦できたりするように進める。

【生徒授業】学校評価アンケート結果

《家庭》

調布市立第八中学校

1 そう思う

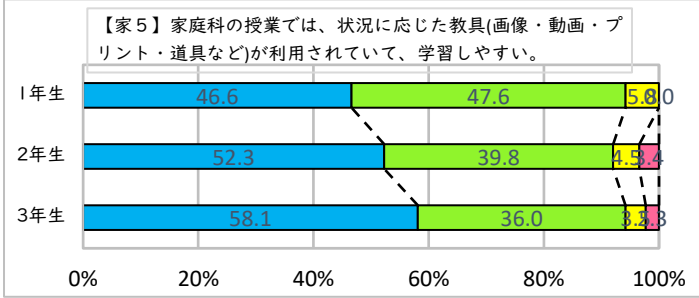
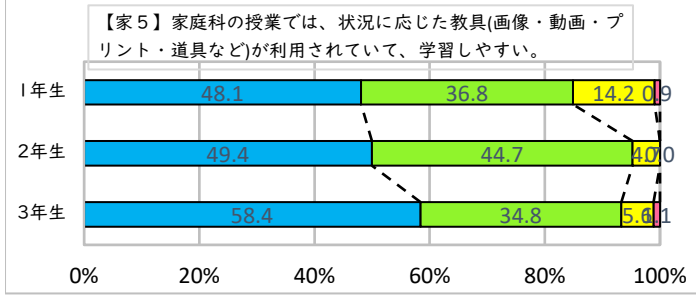
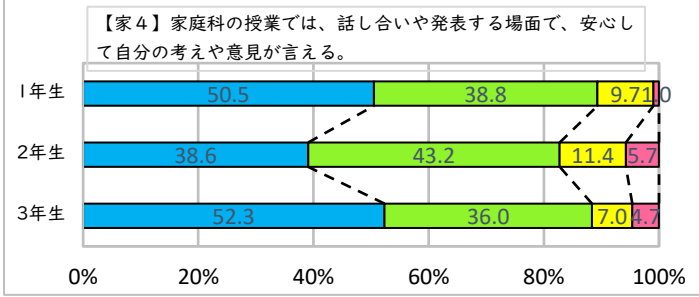
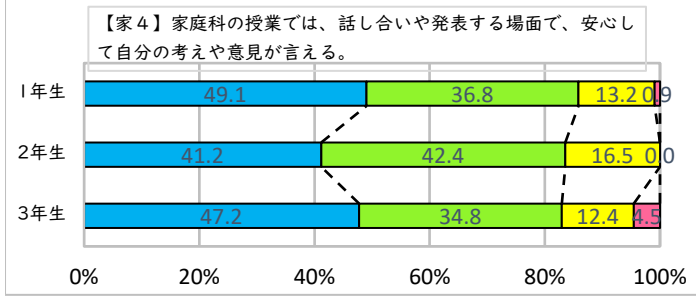
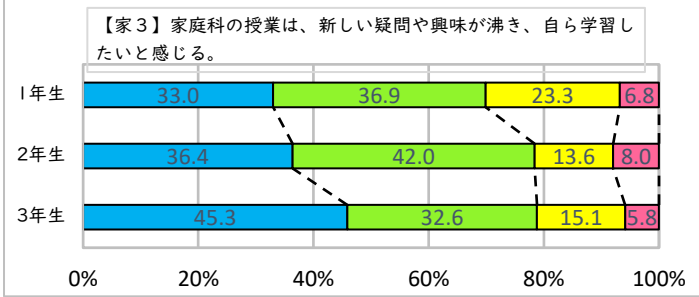
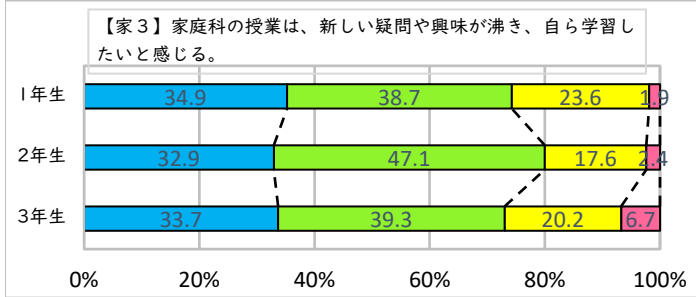
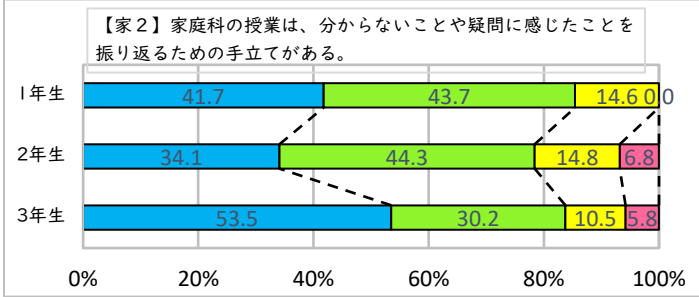
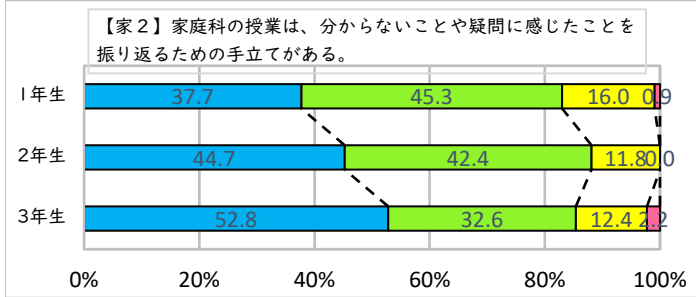
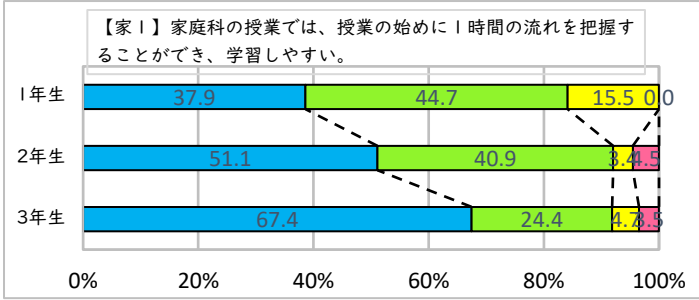
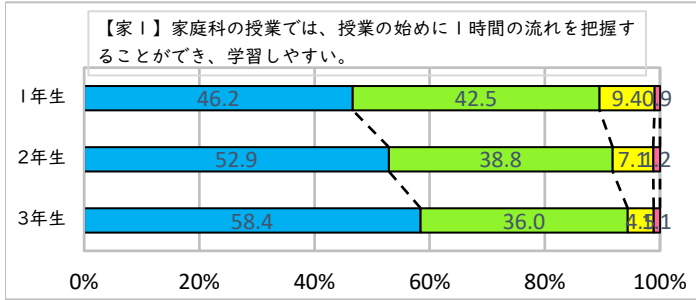
2 ややそう思う

3 あまりそう思わない

4 そう思わない

【7月結果】

【12月結果】



《成果》

【家1】では、めあての提示と1時間の授業の流れを示すことで、生徒自ら授業に臨む姿勢が見られたので、継続していく。特に実技を伴う授業では、個々の進捗差もある中で、安心して取り組む姿勢が見られた。

《課題》

実習中は時間が特に不足気味になり、十分とれない生徒がいるので【家2】の「振り返る手段」を更に工夫していく。振り返りをしっかりすることで、主体的に学習する姿勢を育むため【家3】の「新しい疑問や興味」に繋がるようにする。更に教材の工夫が必要である。

《今後の取組》

実生活への繋がりをもっと意識させることで、「新しい疑問や興味」に繋げていく。また授業の流れを工夫し、振り返りの時間をしっかり確保していく。



【生徒授業】学校評価アンケート結果

《美術》

調布市立第八中学校

1 そう思う

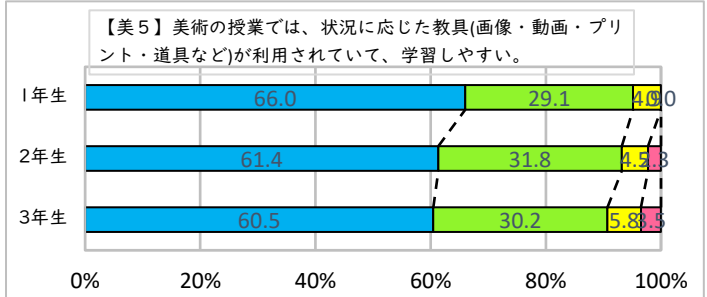
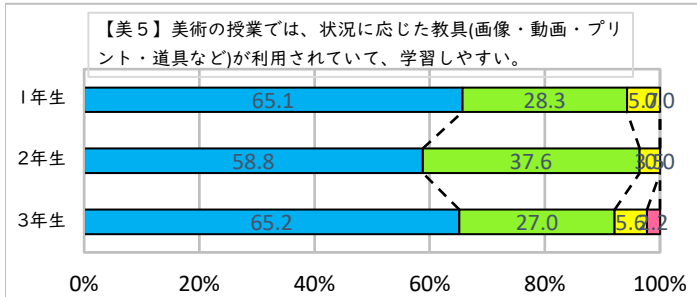
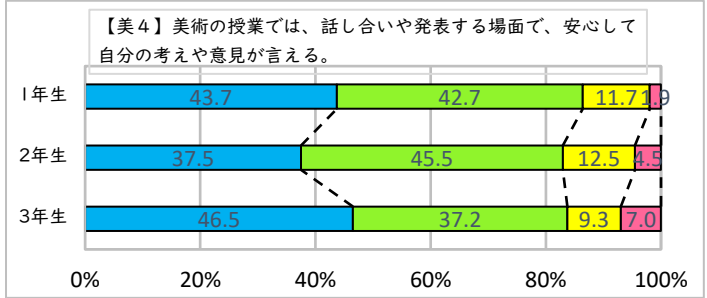
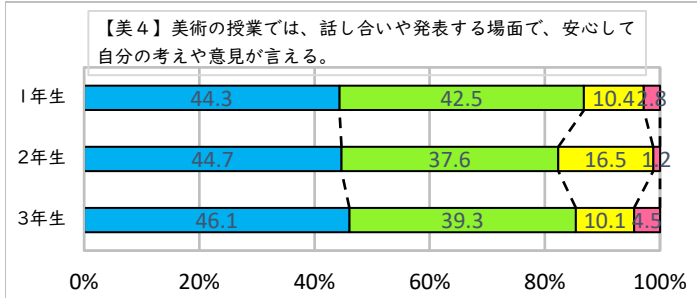
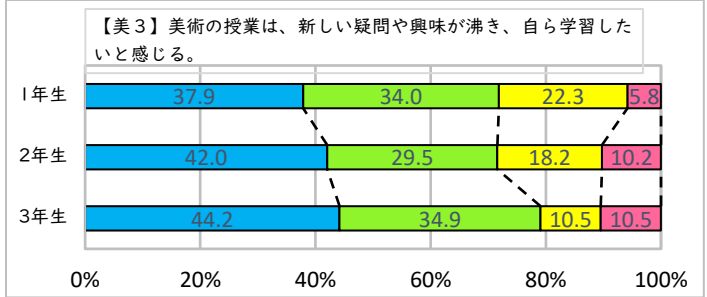
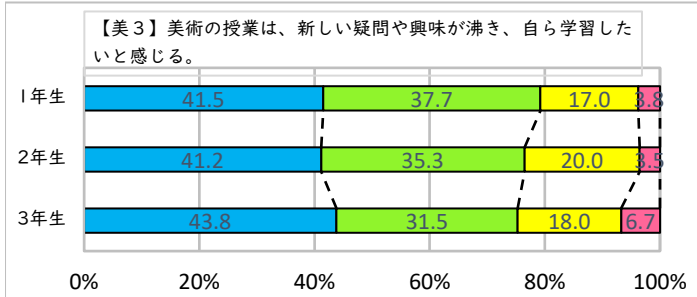
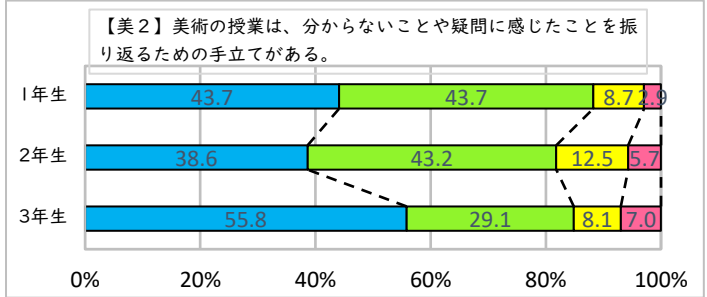
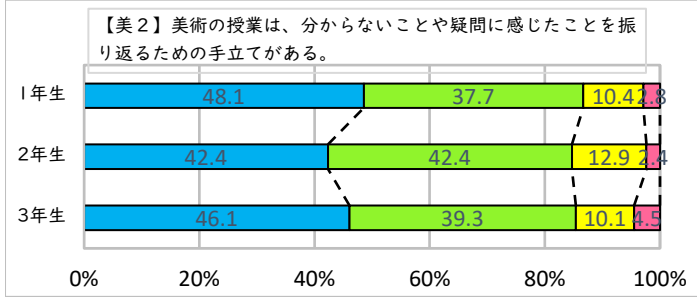
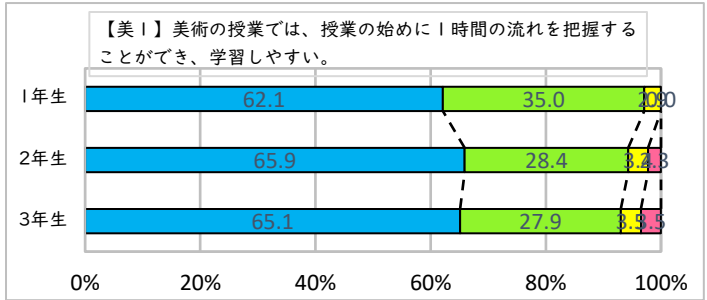
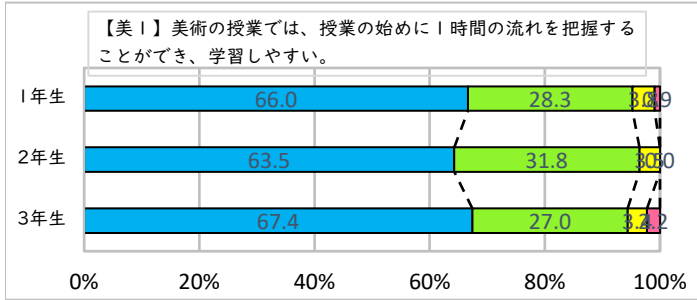
2 ややそう思う

3 そう思う

4 そう思わない

【7月結果】

【12月結果】



<p>《成果》</p> <p>【美1】【美5】で、研修で学んだ「授業全体の流れ」を、ICTやプリントなど複数の方法で掲示し、心理的安全性を確保した。また、認知特性の観点から、視覚・聴覚・文字の3点にアプローチした授業をデザインした成果が見られた。</p>	<p>《課題》</p> <p>【美3】で、主体的に学習に取り組む項目に関して肯定的な意見が75%前後であった。生徒の興味をより引き出す教材を提示していく。</p>	<p>《今後の取組》</p> <p>【美1】【美5】では、現状の取り組みは十分に機能しているため、維持していく。【美2】【美4】では、有効なICTの活用方法を探っていく。【美3】では、さらに生徒の興味を引く方策を練っていく。</p>
---	---	--

【生徒授業】学校評価アンケート結果

《保体》

調布市立第八中学校

1 そう思う

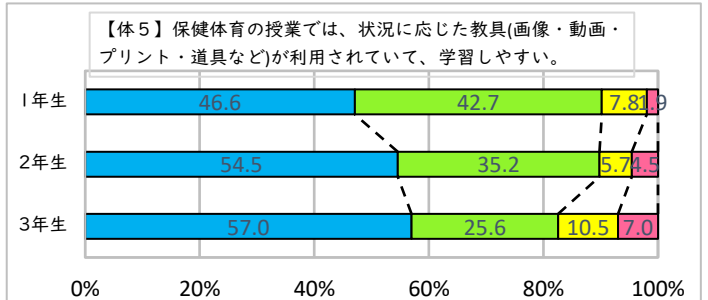
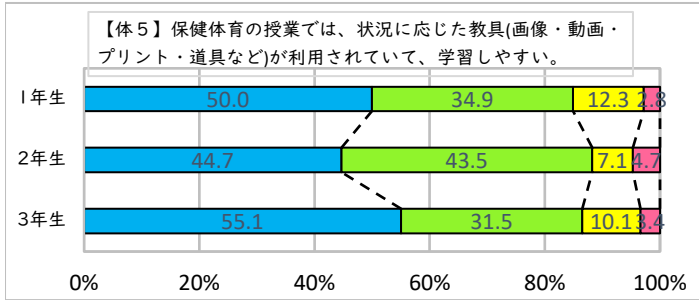
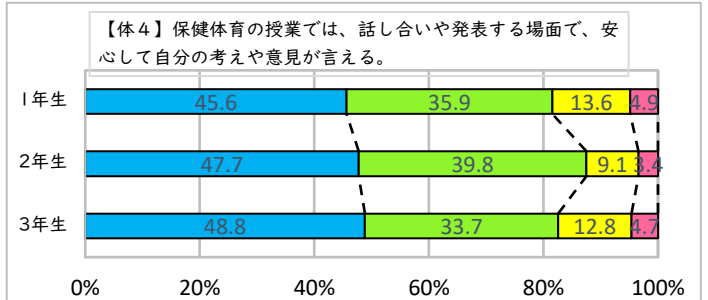
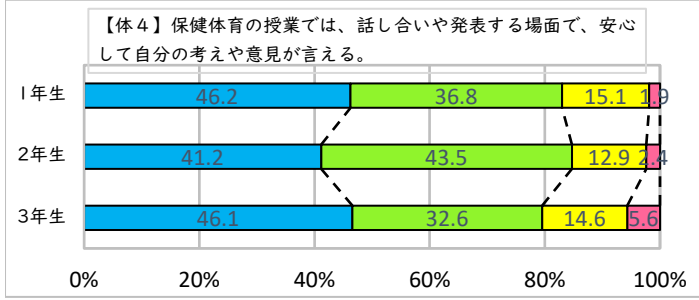
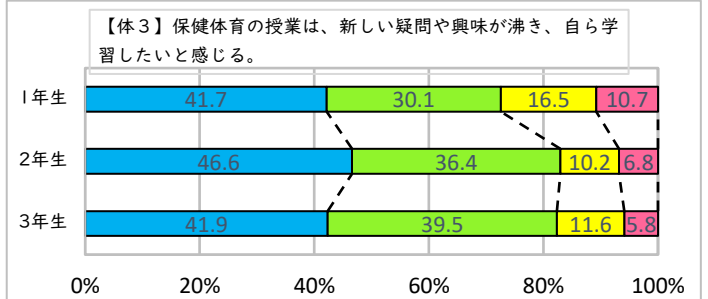
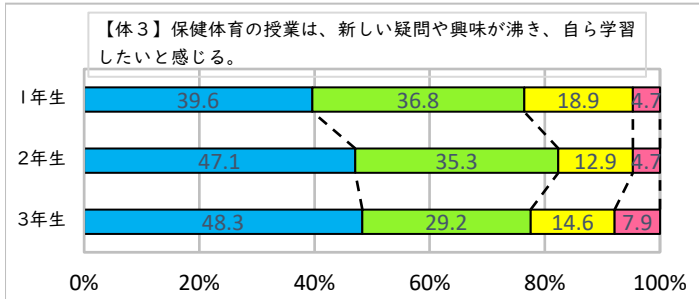
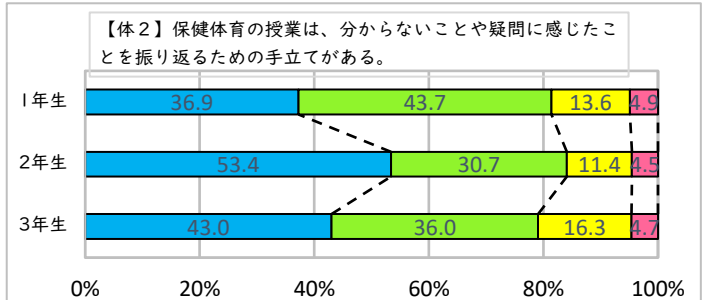
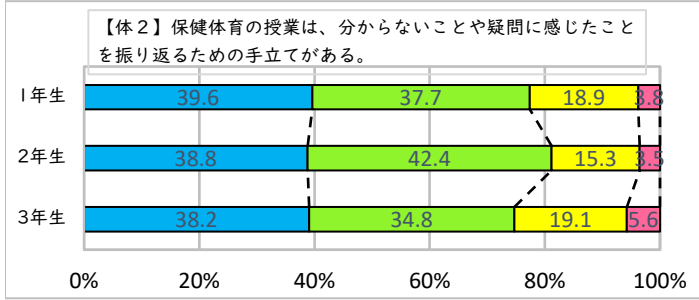
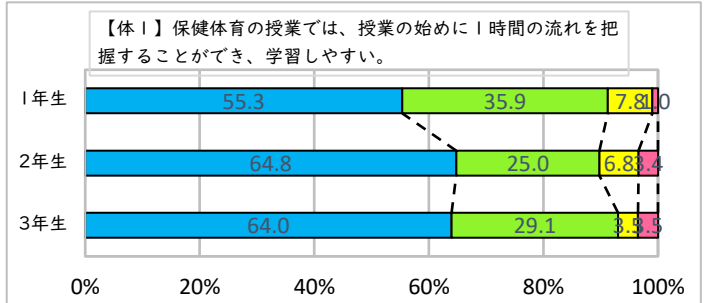
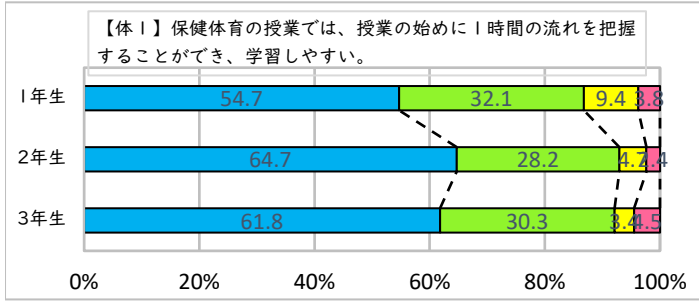
2 ややそう思う

3 あまりそう思わない

4 そう思わない

【7月結果】

【12月結果】



<p>《成果》 【体5】について「そう思う」「ややそう思う」が増加した。Chromebookを使用したダンスやマット運動の授業の成果であると考え。</p>	<p>《課題》 【1年】【体3】についての回答が40%を下回っている。【2年】全ての項目で肯定的な評価が80%以上だが、【体3】の肯定的な評価が下がっている。これらのことは教員側からの一方的な発信で終わっているため、疑問や意欲を惹くような問いかけを積極的に取り入れ、改善を図る。</p>	<p>《今後の取組》 【1年】【体3】については今後の自分の課題を見つけその解決に結びつくような活動(教え合いや学習カードの活用)をさらに充実させていく。 【2年】今後も教え合いや学習カードを活用し改善をしていく。 【3年】ICTをさらに活用し、更に質の高い授業を展開していく。</p>
---	---	---